

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-298501

(P2005-298501A)

(43) 公開日 平成17年10月27日(2005. 10. 27)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 7/00	A 6 1 K 7/00 J	4 C 0 8 3
A 6 1 K 7/021	A 6 1 K 7/00 B	
A 6 1 K 7/06	A 6 1 K 7/00 C	
	A 6 1 K 7/00 N	
	A 6 1 K 7/021	
審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 13 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2005-108033 (P2005-108033)	(71) 出願人	505123941
(22) 出願日	平成17年4月4日 (2005. 4. 4)		ボティカ コマーシャル ファーマシュー
(31) 優先権主張番号	P10400438-8		ティカ エルティーディーエー
(32) 優先日	平成16年4月7日 (2004. 4. 7)		BOTICA COMERCIAL FA
(33) 優先権主張国	ブラジル (BR)		RMACEUTICA LTDA.
			ブラジル, ピーアール 8306 5-6
			20, サオ ジョセ ドス ピンハイス,
			1450 アフォンソ ペナ, アベニユー
			ルイ バルボサ
			AV. RUI BARBOSA, 145
			O AFONSO PENA, SAO J
			OSE DOS PINHAIS, PR
			8306 5-620, BRAZIL
		(74) 代理人	100072349
			弁理士 八田 幹雄
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 懸濁化能を有する油状化粧組成物

(57) 【要約】

【課題】 懸濁化能に優れる油状化粧組成物を提供する。

【解決手段】 皮膚、粘膜及び毛髪潤滑化、湿潤化剤及び保護剤として作用し、さらに装飾用のまたは芳香性の化粧品の基礎として作用する、懸濁化能を有する油状化粧組成物が提供される。当該組成物は、油 - ゲル形態を示し、透明であっても、半透明であってもあるいは不透明であってもよい。また、当該組成物は、優れた懸濁化能を発揮すると同時に、塗布が容易であり、皮膚の滑り性が良好で、塗布した後の感触が心地よくかつ絹のようである。本発明の組成物は、スチレン - エチレン / プロピレン共重合体とシリカとの、油状基礎での、組み合わせに特徴がある。本発明の組成物は、装飾および / または機能付加特性を有するように、懸濁液中に粒子を含んでもよい。

【選択図】 なし

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

潤滑効果を有し、皮膚、粘膜または毛髪を装飾するおよび／または保護する作用を有すると同時に、優れた懸濁化能を有し、容易に塗布でき、皮膚の上を良好に滑り、心地よい絹のような感触をもたらす、懸濁化能を有する油状化粧組成物であって、組成物全質量に対して、0.1～15質量%のスチレン-エチレン/プロピレンブロック共重合体及び0.1～15質量%のシリカからなる基本組成を有することを特徴とする組成物。

【請求項 2】

鉱油及び炭化水素、ならびにその画分及び誘導体からなる群より選ばれる少なくとも一種の油性成分をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

10

【請求項 3】

エステル、化粧用エステル、エーテル、化粧用エーテル、シリコーン、エラストマー、ゲルベルトアルコール(Guerbert alcohol)、植物油からなる群より選ばれる少なくとも一種の他の油性成分をさらに含む、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

界面活性剤をさらに含む、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

防腐剤を、組成物全質量に対して、0.01～2質量%の量でさらに含む、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

フレグランスおよび／または植物由来の芳香油を、組成物全質量に対して、0.1～10質量%の量でさらに含む、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

20

【請求項 7】

天然または合成染料を、組成物全質量に対して、0.1～10質量%の量でさらに含む、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

皮膚、粘膜及び毛髪を処置するまたは保護するための活性成分を、組成物全質量に対して、0.01～10質量%の量でさらに含む、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

抗酸化剤を、組成物全質量に対して、0.01～1質量%の量でさらに含む、請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

30

【請求項 10】

長波長紫外線(UVA)や中波長紫外線(UVB)に対する有機太陽光フィルター剤を、組成物全質量に対して、0.1～20質量%の量でさらに含む、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

油、油-ゲル、ペーストまたはポマードの形態を有し、透明性、半透明性または不透明性を有する、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 12】

酸化鉄、マイカ、ポリエチレンテレフタレート(光沢剤)、シリカ誘導体、二酸化チタン、酸化亜鉛からなる群より選ばれる少なくとも一種の粒子の懸濁液をさらに含む、請求項 1～11 のいずれか 1 項に記載の組成物。

40

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、懸濁化能(suspensory capacity)を有する油状化粧組成物に関する。より詳しくは、本発明は、皮膚、粘膜または毛髪を処置、保護および／または装飾するための油状化粧組成物に関する。特に、当該組成物は、油、油-ゲル、ペーストまたはポマードの形態であり、また、透明性、半透明性または不透明性であってもよい。当該組成物は、皮

50

膚、粘膜及び毛髪の上を良好に滑り、柔軟性を有し(emollient)、絹のような感触があるなどの、感覚的な特性に加えて、粒子の優れた懸濁化能を有するという顕著な特長を有する。懸濁液中に粒子を含む当該組成物は、快適であり、高分散性、柔軟性及びベタベタ感が少ないなどの特徴により、従来の粘稠性のある油状化粧組成物とは全く異なるものである。

【背景技術】

【0002】

油状化粧剤は、皮膚、粘膜または毛髪に水分を与える、保護する、処置する、装飾するさらには芳香を与えるための化粧製品の一群を構成するものである。良好な滑り性、分散性及び柔軟性を示し、湿潤化剤として作用し、素早くかつ実用的に使用できるため、油を、身体に塗布するように、また、太陽光の保護剤として使用される。しかしながら、特に粘稠性のある油状配合物は、現在、唇に光沢を与える等の、唇のメーキャップ製品の基礎として主に使用されるのみである。これは、これらの組成物は、一般的に、顔料の懸濁化剤として作用する成分が存在するため、ベトベト感があるためであり、このような性質により、皮膚または毛髪に塗布されるような用途の製品には使用できない。適度な滑り性がありかつベトベト感の少ない製品を製造するのは困難であるため、皮膚や毛髪に粘稠性の油状配合物を塗布するには限界がある。化粧液とは異なり、懸濁化能を有する粘稠性のある油状配合物には、粒子が配合されるため、皮膚、粘膜または毛髪の保護剤または装飾用剤が混合できる。

10

【0003】

唇のメーキャップ（唇の光沢化）への用途のための粘稠性のある化粧用油状組成物は、多くの場合、シリカ及び高粘性の油から構成される。これらの成分は、懸濁液中に顔料が保持されているが、これにより感触がベトベトしてしまったり、分散性が低かったりする。シリカは、しばしば、より高濃度で粘稠性のある油状組成物に使用されるが、油-ゲルの場合には、あまりエレガントな感触ではなく、広げにくく、皮膚が非常に乾燥して、手でふれる感触が不快なものとなってしまう。油状ゲルを得る別の形態としては、スチレン-エチレン/プロピレンブロック共重合体を使用することがあるが、これは、特定の濃度では、粘性のある透明なゲルを形成し、また、滑り性が良好でありかつベトベト感も少ない。しかしながら、懸濁化能が不十分である場合がある。懸濁化能は、この重合体の濃度を過度に上げることによって向上するが、そうすると、感触が悪くなり、ゲルが重くなり、分散させるのが難しくなり、ベトベト感も増加してしまう。

20

30

【0004】

このような分野では、粒子の懸濁化能が良好であると同時に、分散性、滑り性及び柔軟性には優れるが、ベトベト感はなく、皮膚、粘膜または毛髪は快適なままである、粘稠性のある油状組成物の開発に特に興味が集まっている。さらに、実用化を困難にしている、皮膚や粘膜にアレルギー反応を起したり、刺激を与えたりしない製品が求められている。これらの特性を併せ持つことがこのようなタイプの製品の開発で求められている。

【0005】

特許文献1には、一以上の柔軟特性を併せ持ち、一以上の乾燥剤または太陽光遮断剤を含む、スチレン-エチレン-プロピレンブロック共重合体を含む組成物が開示される。特許文献1には、その大きな目的として、絹のような感触を皮膚に与え、滑りやすく、皮膚に塗った後にフレークを形成しないことが記載されている。特許文献1に記載の組成物は、本発明とは異なり、ブロック共重合体の懸濁化能については何ら記載されておらず、シリカ等の、他のレオロジーの補助剤の併用にまでは広げられていない。

40

【0006】

特許文献2には、製品の耐水性の向上を目的として、エマルジョン等の太陽光保護配合物中にブタジエン、イソプレンおよび/またはスチレン共重合体を使用することが記載されている。特許文献2に記載の配合物は、本発明とは異なり、懸濁化能を有する油状ゲルの配合を目的とするものではなく、また、共重合体とレオロジー補助剤との組み合わせについては何ら記載されていない。

50

【 0 0 0 7 】

特許文献 3 には、シリカと組み合わせた無水油状配合物中に粒子を密に懸濁することを目的として、スチレン - エチレン / プロピレンブロック共重合体、またはこれとアルキルシクロアルキルアクリレート共重合体との組み合わせにより、皮膚や毛髪への固定性及び乾燥耐久性を有する化粧組成物が開示されている。

【 0 0 0 8 】

また、特許文献 4 には、化粧組成物の耐久性を向上しかつその移動を最小限に抑制するためのトリメチル化シリカの使用が記載されている。特許文献 4 には、本発明とは異なり、良好な懸濁化能に関連して感触を向上するためにシリカを他の懸濁化剤または増粘剤と組み合わせることについては何ら記載されていない。

【特許文献 1】欧州特許第 0 4 9 7 1 4 4 号明細書

【特許文献 2】米国特許第 6 , 3 1 2 , 6 7 2 号明細書

【特許文献 3】米国特許第 6 , 0 8 3 , 5 1 6 号明細書

【特許文献 4】米国特許出願公開第 2 0 0 3 - 0 , 1 4 7 , 9 3 1 号明細書

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 9 】

本発明は、上記事情を鑑みてなされたものであり、懸濁液中に粒子を適度に維持でき（優れた懸濁化能を有し）、かつベトベトせずに、容易に滑り、柔軟性を発揮する、皮膚、粘膜または毛髪に塗られる油状組成物、ペーストまたはポマードを提供することを目的とするものである。この際、当該油状組成物、ペーストまたはポマードは、透明であっても、半透明であってもあるいは不透明であってもよい。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 1 0 】

上記目的は、潤滑効果を有し、皮膚、粘膜または毛髪を装飾するおよび / または保護する作用を有すると同時に、優れた懸濁化能を有し、容易に塗布でき、皮膚の上を良好に滑り、心地よい絹のような感触をもたらす、懸濁化能を有する油状化粧組成物であって、油基準で、組成物全質量に対して、0 . 1 ~ 1 5 質量 % のスチレン - エチレン / プロピレンブロック共重合体及び 0 . 1 ~ 1 5 質量 % のシリカからなる基本組成を有することを特徴とする組成物によって達成される。

【発明の効果】

【 0 0 1 1 】

本発明の油状化粧組成物は、0 . 1 ~ 1 5 質量 % のスチレン - エチレン / プロピレンブロック共重合体及び 0 . 1 ~ 1 5 質量 % のシリカの組み合わせに特徴を有する。このような特定の組み合わせを有する本発明の組成物は、懸濁液中に粒子を適度に維持でき（優れた懸濁化能を有し）、かつベトベトせずに、容易に滑り、柔軟性を発揮でき、快適に皮膚、粘膜または毛髪に塗布できるという利点がある。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 2 】

以下、本発明を詳細に説明する。

【 0 0 1 3 】

本発明は、潤滑効果を有し、皮膚、粘膜または毛髪を装飾するおよび / または保護する作用を有すると同時に、優れた懸濁化能を有し、容易に塗布でき、皮膚の上を良好に滑り、心地よい絹のような感触をもたらす、懸濁化能を有する油状化粧組成物であって、油基準で、組成物全質量に対して、0 . 1 ~ 1 5 質量 % のスチレン - エチレン / プロピレンブロック共重合体及び 0 . 1 ~ 1 5 質量 % のシリカからなる基本組成を有することを特徴とする組成物を提供するものである。なお、本明細書において、特記しない限り、「 % 」は、質量 % を表わす。また、「スチレン - エチレン / プロピレンブロック共重合体」とは、スチレン - エチレン - プロピレンブロック共重合体である。本発明では、上記ブロック共重合体の少なくとも 1 種を 0 . 1 ~ 1 5 質量 % という特定量で使用するものである。

【 0 0 1 4 】

本発明の組成物は、鉱油、炭化水素ならびにその画分及び誘導体、シリコーン、エステル、化粧用エーテル、「ゲルベルトアルコール(Guerbert alcohol)」、脂肪酸トリアシルグリセロールならびに植物油などの液状の体に塗布するための油を得るために使用される公知の油成分を高濃度で含むものであってもよい。これらの成分は、皮膚の保湿性を高度に維持し、本発明の組成物の基礎を構成するものである。この化合物ベースを化粧用の油と組み合わせた組成物は、懸濁液中に粒子を維持でき、塗布容易性及び感触に優れたゲル-油を得ることを目的とすると、2種の必須成分を含む。これらの成分のうち、第一の成分は、スチレン-エチレン/プロピレンブロック共重合体、特にスチレン-エチレン/プロピレンの水素化ブロック共重合体であり、これはさらにスチレン/イソプレンのハロゲン化共重合体を含んでもよい。このような鎖状の共重合体は、弾性のある柔軟な構造を示し、30～40%濃度のスチレンを含むことが好ましく、このような共重合体は、タイプ-S-E-P構造で表わされる。この際、「S」はスチレンモノマーからなるブロックを示し、「EP」はエチレンおよび/またはプロピレンモノマーからなるブロックを示す。例えば、この重合体について、以下の配合の化粧製品に一般的に使用されるポリエチレンのテレフタレート粒子の懸濁能を試験し、その結果を下記表1に示す。なお、表1において、「Qsp. 100%」は、化粧用油で全量が100%にしたという意味である。

10

【 0 0 1 5 】

本発明において、スチレン-エチレン/プロピレンブロック共重合体の含有量は、組成物全質量に対して、0.1～15質量%である。

20

【 0 0 1 6 】

【表 1】

成分	組成物 1	組成物 2	組成物 3	組成物 4	組成物 5
スチレン-エチレン/プロピレン共重合体	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%
化粧用油の混合物	Qsp. 100%	Qsp. 100%	Qsp. 100%	Qsp. 100%	Qsp. 100%
ポリエチレンテレフタレート	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%
懸濁化能 (50℃)	24時間未満ではデカンテーションが不十分	24時間未満ではデカンテーションが不十分	7日未満ではデカンテーションが不十分	7日未満ではデカンテーションが不十分	7日を超えるとはデカンテーションは生じない。満足
感 触	分散は容易 ベトベト感は少ない 柔軟性あり	分散は容易 平均的なベトベト感 柔軟性あり	分散は並 かなりのベトベト感 柔軟性あり	分散は困難 かなりのベトベト感 柔軟性あり	分散は困難 かなりのベトベト感 柔軟性あり

10

20

30

40

50

これらの予備アッセイの結果から、懸濁化能が良好で、分散が容易で、柔軟性があり、かつベトベト感の少ないなどの、感触特性をすべて併せ持つには、スチレン - エチレン / プロピレン共重合体のみを使用することによっては達成できないことが判明した。50の温度で7日間という期間を考慮すると、良好な懸濁化能を得るための最小量(10.0%)では、製品の感触は多大な影響を受けた。

【0018】

これらの成分のうち、第二の成分は、シリカである。本明細書において、「シリカ」ということばは、結晶シリカ、石英ガラス及び非晶質シリカなどの様々な形態の、二酸化ケイ素化合物、 SiO_2 を意味する。非晶質シリカはまた、熱分解法シリカまたはコロイドシリカとして知られている。非晶質シリカの製造方法は特に制限されず、公知の方法が同様にしてあるいは修飾して使用できるが、例えば、高い反応温度でクロロシランを加水分解することによって得られる。また、シリカは、水または他の極性化合物と高い親和性を有する微細な非晶質の白色粉末であってもよい。本発明において、シリカの含有量は、組成物全質量に対して、0.1~15質量%である。このような量であれば、所望の増粘性及びチキソトロピーを提供する、水性または油状ゲルの配合が提供できるからである。シリカは、シリレーション(sililation)のような、反応により疎水化されてもよい。疎水性シリカは、増粘剤の機能を有するが、粘性のあまりないゲル由来であり、高いチキソトロピー性を有する。下記実施例において、感触及び懸濁化能に関するコロイドシリカの挙動を、下記基本配合で調べた。その結果を下記表2に示す。

10

【0019】

20

【表 2】

成分	組成物1	組成物2	組成物3	組成物4	組成物5
シリカ	4.0%	4.5%	5.0%	5.5%	6.0%
化粧用油の混合物	Qsp. 100%	Qsp. 100%	Qsp. 100%	Qsp. 100%	Qsp. 100%
ポリエチレンテレフタレート	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%
懸濁化能(50℃)	24時間未満ではデカンテーションが不十分	24時間未満ではデカンテーションが不十分	7日未満ではデカンテーションが不十分	7日未満ではデカンテーションが不十分	7日を超えるとデカンテーションは生じない。満足
感触	分散は容易 若干サラサラした感触 すべり性合格	分散は並 乾サラサラした感触 すべり性合格	分散は並 サラサラした感触 すべり性合格	分散は困難 サラサラした感触 すべり性が低い	分散は困難 かなりサラサラした感触 すべり性が低い

これらの予備アッセイの結果から、分散性、感触の柔軟性、及び皮膚でのすべり性等の感覚的な特性と、懸濁化能とを併せ持つには、シリカのみを使用することによっては達成できないことが判明した。相分離を起こさずに、良好な懸濁化能を得るための最小量（6.0%）では、製品の感触は多大な影響を受けた。

【0021】

スチレン-エチレン/プロピレン共重合体及びシリカ、特に親水性シリカの組み合わせを試験した結果、好ましい懸濁化能を付与するこれらの材料間には相乗効果があることが判明し、これにより興味深い感触の総和が得られた。これらの材料は反対の感触特性を示すため、スチレン-エチレン/プロピレン共重合体はベースの柔軟性を保持するものの、高濃度ではベトベトする。これに対して、シリカは分散性を抑制して、よりサラサラした（乾燥した）感触を与える。これらを組み合わせることによって、ベトベト感は低く、良好な分散性、皮膚での良好な滑り性及び良好な柔軟性を示す組成物が得られた。さらに、下記表3に示されるように、満足できる懸濁化能が、双方の材料（スチレン-エチレン/プロピレン共重合体及びシリカ）を比較的低濃度で用いて得られ、これにより、この組み合わせの相乗効果が明らかになった。すなわち、本発明は、きめが細かく、快適な感触を有するが懸濁化能が不十分な油-ゲル、またはサラサラした（乾燥した）感触は強調されるが、最適な分散性を得るのは困難であり、ベトベト感もひどいゲル-油を提供するものではない。本発明は、良好な組織を有し、感触が柔らかで、柔軟性があり、絹のような感触であり、分散が容易であり、透明で、さらに、ベトベト感が少なく、最適な懸濁化能を有する油-ゲルを開示するものであり、これにより油-ゲル、ペーストまたはボマードの形態の無水製品の配合が可能になったのである。さらに、本発明の組成物には、組成物のおよび/または皮膚、粘膜及び毛髪の保護及び装飾を目的として、懸濁液中に粒子が存在していてもよく、粒子としては、特に制限されず、化粧分野に通常使用されるのと同様の粒子材料が使用できる。具体的には、酸化鉄、マイカ、ポリエチレンテレフタレート（光沢剤）、シリカ誘導体、二酸化チタン、酸化亜鉛または他の分散固体等が挙げられる。これらの粒子は、単独で使用されてもあるいは2種以上の混合物の形態で使用されてもよい。

【0022】

下記実施例においては、スチレン-エチレン/プロピレンブロック共重合体及びシリカとの組み合わせからなる本発明の組成物を、以下に示されるような油状ベースで試験し、その感触及び懸濁化能（化粧製品に一般的に使用されるポリエチレンのテレフタレート粒子の懸濁能）を評価した。その結果を下記表3に示す。

【0023】

【表3】

成分	組成物1
スチレン-エチレン/プロピレン共重合体	6.0%
シリカ	2.0%
化粧用油の混合物	Qsp. 100%
ポリエチレンテレフタレート	0.5%
懸濁化能(50℃)	7日間ではデカンテーションが起こらず、満足
感触	分散は容易 ベトベト感は少ない 柔軟性あり

【0024】

この研究により、油、油-ゲル、ペーストまたはボマードの配合物において、増粘剤及びスチレン-エチレン/プロピレン共重合体及びシリカを組み合わせることによって、良好な懸濁化能を示しならびに最良の感触及び塗布特性を保持するという点で相乗効果を示すことが分かった。したがって、この組み合わせは、鉱油ならびにその画分及び誘導体、炭化水素、シリコーン、エステル、エーテル、化粧用エステル、化粧用エーテル、ゲルベ

ルトアルコール (Guerbert alcohol)、脂肪酸トリアシルグリセロールならびに植物油、さらにはこれらの混合物などの、化粧工業で使用する、油性成分の粘稠性のある混合物に好適に使用できる。これらの組み合わせはすべて、本発明に包含される。したがって、0.1 ~ 15 質量 % 濃度のスチレン - エチレン / プロピレンブロック共重合体及び 0.1 ~ 15 質量 % 濃度のシリカの組み合わせにより得られる本発明の組成物 (例えば、油、油 - ゲル、ペースト、ポマード) は、油性の化粧成分から構成される配合物基礎で、鉱油及び炭化水素、ならびにその画分及び誘導体等の、油性成分を含んでもよい。これらの油性成分は、単独で使用されてもあるいは 2 種以上の混合物の形態で使用されてもよい。また、本発明の組成物は、上記油性成分に代えてあるいは上記油性成分に加えて、化粧用エステル、化粧用エーテル、シリコーン、エラストマー、ゲルベルトアルコール (Guerbert alcohol)、植物油等の他の油性成分を含んでもよい。この際、上記他の油性成分は、単独で使用されてもあるいは 2 種以上の混合物の形態で使用されてもよい。

10

【0025】

また、本発明の組成物は、上記成分に代えてあるいは上記成分に加えて、皮膚、粘膜または毛髪の保護を目的としてまたは皮膚、粘膜または毛髪の装飾を目的として、適当なベヒクルを含んでもよい。この際、ベヒクルとしては、特に制限されず、化粧分野において通常使用されるベヒクルと同様のベヒクルが同様の量で使用できる。具体的には、酸化鉄、マイカ、ポリエチレンテレフタレート (光沢剤)、シリカ誘導体、二酸化チタン、酸化亜鉛等が好ましく挙げられる。これらのベヒクルは、単独で使用されてもあるいは 2 種以上の混合物の形態で使用されてもよい。また、ベヒクルの量は、組成物全質量に対して、好ましくは 0.01 ~ 50 質量 % の量で使用され、好ましくは粒子が懸濁した懸濁液の形態で使用されるのが好ましい。

20

【0026】

上記油性成分 / ベヒクルに加えて、あるいは上記油性成分 / ベヒクルに代えて、フレグランスや植物由来の芳香油が、快適な香りを製品につけるために、使用されてもよい。これらのフレグランスや植物由来の芳香油は、それぞれ、単独で使用されてもあるいは 2 種以上の混合物の形態で使用されてもよく、また、フレグランスや植物由来の芳香油を適当に組み合わせ使用してもよい。この際、フレグランスや植物由来の芳香油の量は、特に制限されず、化粧分野において通常使用されるのと同様の量で使用できるが、組成物全質量に対して、0.05 ~ 10 質量 %、より好ましくは 0.1 ~ 10 質量 % の量で存在することが好ましい。

30

【0027】

本発明の組成物は、上記に加えて、あるいは上記に代えて、界面活性剤を含んでもよい。この際使用できる界面活性剤としては、特に制限されず化粧分野において通常使用されるのと同様のものが使用できるが、例えば、乳化剤および / または可溶化剤が挙げられる。この際、界面活性剤は、単独で使用されてもあるいは 2 種以上の混合物の形態で使用されてもよい。また、界面活性剤の使用量もまた、特に制限されず、化粧分野において通常使用されるのと同様の量で使用できるが、例えば、組成物全質量に対して、0.1 ~ 10 質量 % であることが好ましい。

【0028】

本発明では、防腐剤が、上記に加えて、あるいは上記に代えて、組成物中に含まれてもよい。この際、使用できる防腐剤としては、特に制限されず化粧分野において通常使用されるのと同様のものが使用できるが、例えば、パラオキシ安息香酸エステル (parabene) 等の公知の防腐剤が使用できる。この際、防腐剤は、単独で使用されてもあるいは 2 種以上の混合物の形態で使用されてもよい。また、防腐剤の使用量もまた、特に制限されず、化粧分野において通常使用されるのと同様の量で使用できるが、例えば、組成物全質量に対して、0.01 ~ 2 質量 % の量で存在することが好ましい。

40

【0029】

また、本発明の組成物は、上記に加えて、あるいは上記に代えて、皮膚、粘膜及び毛髪を処置するまたは保護するための活性成分を含んでもよい。この際、このような活性成分

50

としては、皮膚、粘膜及び毛髪の処置を促進する作用を有するものであれば特に制限されず、化粧分野で通常使用されるのと同様ものが同様の量で使用できる。具体的には、トコフェロールや酢酸トコフェロール等のビタミン類、パルミチン酸レチノールまたは他の油性の活性成分、抗酸化剤や植物のエッセンス等が好ましく使用される。この際、上記皮膚、粘膜及び毛髪を処置するまたは保護するための活性成分は、単独で使用されてもあるいは2種以上の混合物の形態で使用されてもよく、また、その使用量もまた、特に制限されないが、例えば、組成物全質量に対して、0.01～10質量%であることが好ましい。

【0030】

さらに、本発明の組成物は、上記に加えて、あるいは上記に代えて、組成物を酸化から保護する目的で、抗酸化剤を含んでもよい。この際使用できる抗酸化剤としては、特に制限されず、公知の抗酸化剤が使用できるが、例えば、ブチルヒドロキシトルエン（BHT）、ブチルヒドロキシアニソール（BHA）、植物性抗酸化剤などが好ましく使用できる。この際、抗酸化剤は、単独で使用されてもあるいは2種以上の混合物の形態で使用されてもよい。また、抗酸化剤の使用量もまた、特に制限されないが、例えば、組成物全質量に対して、0.01～1質量%、より好ましくは0.01～0.5質量%の量で存在することが好ましい。

10

【0031】

さらに、本発明の組成物は、上記に加えて、あるいは上記に代えて、製品の仕様を変更するために、染料を含んでもよい。この際使用できる染料としては、特に制限されず、公知の染料が使用できるが、例えば、天然染料、合成染料、無機顔料等が好ましく挙げられる。また、染料の使用量もまた、特に制限されないが、例えば、組成物全質量に対して、0.1～10質量%であることが好ましい。

20

【0032】

本発明の組成物に太陽光からの保護特性を与えるために、上記成分に代えてあるいは上記成分に加えて、長波長紫外線（UVA）や中波長紫外線（UVB）に対する有機太陽光フィルター剤を使用してもよい。この際使用できる有機太陽光フィルター剤としては、特に制限されず、公知の有機太陽光フィルター剤が使用できるが、例えば、2-エチルヘキシルのp-メトキシケイ皮酸塩、ブチルメトキシジベンゾイルメタンなどが好ましく使用できる。この際、有機太陽光フィルター剤は、単独で使用されてもあるいは2種以上の混合物の形態で使用されてもよく、また、適当な溶剤に可溶化されて使用されてもよい。また、有機太陽光フィルター剤の使用量もまた、特に制限されないが、例えば、組成物全質量に対して、0.01～30質量%、より好ましくは0.1～20質量%の量で存在することが好ましい。

30

【0033】

したがって、本発明で特に好適に使用される組成物の組成を下記表4に示す。なお、下記表4において、各成分は合計量で表され、また、各量は、組成物の全質量に対する、質量%で表される。

【0034】

【表 4】

装飾用粒子(酸化鉄、マイカ、ポリエチレンテレフタレート、シリカ誘導体、二酸化チタン等、またはこれらの混合物)	0.01 ~ 50質量%
無機太陽光フィルター剤(二酸化チタン、酸化亜鉛等、またはこれらの混合物)	0.01 ~ 50質量%
フレグランスおよび/または芳香油	0.05 ~ 10質量%
防腐剤(パラオキシ安息香酸エステル等)	0.01 ~ 2質量%
ビタミン、植物のエッセンス、若しくは他の可溶化活性成分等、または懸濁液中	0.01 ~ 10質量%
抗酸化剤(BHT、BHA等)	0.01 ~ 0.5質量%
有機太陽光フィルター剤(2-エチルヘキシルのp-メトキシケイ皮酸塩、フェニルメキシジベンゾイルメタン、またはこれらの混合物)	0.01 ~ 30質量%
鉱油ならびにその画分及び誘導体、炭化水素、シリコーン、エステル、エーテル及び化粧用エーテル、ゲルベールアルコール、脂肪酸トリアシルグリセロール、及び植物油等、またはこれらの混合物	1 ~ 95質量%
スチレン-エチレン/プロピレンの水素化ブロック共重合体	0.1 ~ 15質量%
シリカ	0.1 ~ 15質量%
界面活性剤(可溶化剤および/または乳化剤)	0.1 ~ 10質量%

10

20

【0035】

本発明は、上記好ましい実施態様や詳細な説明に制限されるものではなく、十分な概念で理解されるべきである。数多くの修飾や本発明の他の実施態様が、前記説明を参照して、当業者により理解されるであろう。さらに、本発明は、開示される特定の形態に限定されるものではなく、修飾形態や他の形態もまた特許請求の範囲に包含されると理解されるべきである。本明細書中では特定のことが使用されているが、これらは一般的に使用されるのと同様の意味で使用され、特に制限されるものではない。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

F I

テーマコード(参考)

A 6 1 K 7/06

(74)代理人 100110995

弁理士 奈良 泰男

(74)代理人 100114649

弁理士 宇谷 勝幸

(74)代理人 100129126

弁理士 藤田 健

(74)代理人 100130971

弁理士 都祭 正則

(74)代理人 100134348

弁理士 長谷川 俊弘

(72)発明者 ロニット, マザー

ブラジル, ピーアール, メルチェス キュリティバ, 1 4 7 5 - アパートメント 7 0 1, アラメ
ダ ジュリア ダ コスタ

(72)発明者 カルロス, エデュアルド, デ, オリベイラ, ブラエス

ブラジル, ピーアール, キュリティバ, ウベラバ, 6 7 0 0 - ハウス 1 5, アベニユー コメン
ダドー フランコ

(72)発明者 タニア, レジナ, オリベイラ, メンデス

ブラジル, ピーアール, サオ ジョセ ドス ピンハイス, ダウンタウン, 7 1 2 - ハウス 0 3
, ルア シャセンデルグ デ クアドロス

(72)発明者 パオラ, マリア, パトリアルカ

ブラジル, ピーアール, キュリティバ, 4 9 - アパートメント 2 0 1 - クリスト レイ, ルア
オイボック

(72)発明者 イスラエル, ヘンリクエ, エス., フェフェルマン

ブラジル, ピーアール, サオ ジョセ ドス ピンハイス, アフォンソ ペナ, 2 4 5 0, アベニ
ユー ルイ バルボサ

F ターム(参考) 4C083 AA112 AA121 AA122 AA161 AA162 AB171 AB172 AB211 AB212 AB231

AB232 AB241 AB242 AB431 AB432 AC011 AC012 AC061 AC062 AC171

AC172 AC212 AC331 AC332 AC342 AC422 AC472 AC482 AD011 AD021

AD022 AD091 AD092 AD151 AD152 AD612 BB01 BB11 BB13 BB21

BB22 BB24 BB32 BB41 BB46 BB47 BB48 CC02 CC05 CC12

CC19 CC33 DD01 DD02 DD23 DD30 DD31 DD39 DD41 EE03

EE06 EE07 EE10 EE12 EE17 EE28 EE29 FF05